

豊かな自然に四季のおおりと舟の国のこだまする村をつくらう

2021 No. 141

2021年9月定例会

山形県 戸沢村

とぎとぎに 議会だより

- 2p 9月定例会 令和2年度歳出総額62億6755万円を認定
- 3p 条例改正 条例設定 常任委員会報告
- 4p~5p 令和2年度 一般会計決算審査・特別会計決算審査
- 6p~13p 村政を問い直す！ 7名の議員が登壇
- 14p~15p 未来創造プロジェクト会議 議会日誌（7月～9月）
- 16p 秋の風物詩 表紙の言葉 編集後記

令和3年

9月
定例会

令和2年度各種会計

歳出総額62億6755万円を認定

補正予算

令和3年度戸沢村一般会計補正予算（第4号）

補正額 2億4200万円 補正後の額 42億4500万円

今回の補正は、前年度の決算を受けて、繰入金、繰越金の精査を行い、事業の見直し等に係る地方債の限度額の変更のため計上された。このほか、定住住宅造成費用、ぽんぽ館修繕関連費用、子育て世帯生活支援に係る費用、予防接種費用、農業振興費用、道路新設費用なども計上されました。

◎主な補正内容（歳出）

一般会計

総務費

- ・子育て応援住宅（真柄地区）造成費……………4260万円
- ・地域振興拠点施設管理運営費
ぽんぽ館の修繕・装置の更新……………1375万円

衛生費

- ・高齢者インフルエンザ予防接種委託料……………160万円
- ・予防接種委託料（コロナ）……………1604万8千円

農林水産業費

- ・強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金……………389万円
- ・県魅力（かち）のある園芸やまがた産地力強化事業費補助金…127万円
- ・工事請負費（明戸親水公園水路）……………350万円

土木費

- ・工事請負費（村道松坂天ヶ沢線）……………8410万円
- ・測量設計委託料（五平次・芋坂・畑ヶ・五郎沢・角間沢）……………1050万円

災害復旧費

- ・災害対策総務費……………320万円

9月定例会は9日から15日までの7日間の会期で行われた。報告事項4件、令和3年度補正予算7件、令和2年度各会計歳入歳出決算の認定7件、条例関係3件、計画策定1件、人事案件1件が提案され、全議案を可決した。一般質問には7議員が登壇し、養豚施設の臭気対策、農業委員会業務、今後の圃場整備事業、戸沢学園の現状、行政施策進捗遅延、防災対策、インフラ管理等について、議論が交わされた。

特別会計

◎戸沢村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

補正額/100万円・補正後の予算額/1650万円

- ・主な補正内容（歳出）
予備費の増/78万7千円

◎戸沢村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正額/138万1千円・補正後の予算額/6238万1千円

- ・主な補正内容（歳出）
一般会計繰出金の増/101万5千円

◎戸沢村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正額/1267万9千円・補正後の額/2億5467万9千円

- ・主な補正内容（歳出）
工事請負費の増/470万円

◎戸沢村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正額/186万8千円・補正後の額/9366万8千円

- ・主な補正内容（歳出）
工事請負費の増/100万円

◎戸沢村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

補正額/319万7千円・補正後の額/1億4319万7千円

- ・主な補正内容（歳出）
修繕費の増/170万円・工事請負費の増/145万円

◎戸沢村介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額/1978万3千円・補正後の額/7億5278万3千円

- ・主な補正内容（歳出）
介護給付費準備基金元金積立/1000万円
償還金利子及び割引料返還金の増/924万2千円

条例改正

1 戸沢村手数料条例の一部を改正する条例の制定

新設された番号法の規定により改正が行われました。

2 戸沢村過疎地域固定資産税免除条例の全部を改正する条例の制定

過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月31日に失効し、新たな特別措置法が令和3年4月1日に施行され、対象業種は製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業で課税免除となります。課税客体は特別償却設備である家屋、償却資産、特別償却設備である土地となります。

条例設定

1 戸沢村子育て応援住宅設置及び管理に関する条例の設定

子育て応援住宅を設置するにあたり、その住宅の建設方法、入居条件等を新たに

に定めた条例です。整備が予定されており、入居資格は「村内に住宅を所有していない、かつ自ら居住する住宅を必要とする。」「申込みした年度の4月1日において小学生修了前の子どもがいること（母子健康手帳を有する同居家族を含む。）」等となります。

計画策定

1 戸沢村過疎地域持続的発展計画

地域、地域産業の活力や集落機能の低下、加えて生産組織、社会活動を停滞させるなど過疎化の影響が多方面に及んでいることから、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5箇年を計画期間とする計画が作成され、原案通り議会で可決されました。

人事案件

1 戸沢村教育委員会委員の任命に同意

和田 史郎（敬称略）
任期 令和3年10月1日～
令和7年9月30日

常任委員会報告

◎総務文教常任委員会

9月14日、総務文教常任

委員会を開催し、「辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採決を求める陳情」を協議し、継続審査とすることを決定しました。

委員長 富樫 義人



総務文教常任委員会構成委員

◎産業建設常任委員会

9月14日、「米の需給調整に関する請願」について協議し、コロナ禍の需要減に対し市場隔離の実施、備蓄倉庫改修支援等が必要であり、持続可能な水田農業の維持・発展のため採択すべきであると決定しました。

養豚臭気対策を協議

9月29日、山形戸沢ファーム社長室岡賢司氏を迎え、臭気の苦情や改善策について産業建設常任委員会を開催し協議を行いました。

本事業については、議会も誘致に関わった事業であり、村民に対し強力な改善策を示す必要があることから、開催となりました。

室岡氏に、臭気苦情に対し、どの様な改善策を講じるか伺いました。

室岡氏より臭気に対する陳謝があり、現況の改善策と根源の追求を専門家と連携しながら、最大限の改善に取り組みと説明があり、

今進められている事と今後実施する対策としては次のとおりです。

①浄化槽への土壌脱臭装置追加

②施設内の緑化事業

他にも、他社の施設も研究の上、改善箇所が判明次第に改善を進める旨、話し合われました。

また、今後、戸沢村において、親しまれる優良企業となるよう産業建設常任委員会に出席を頂き議論を重ねる事を確認しました。

産業建設常任委員長

岡田 孝一



産業建設常任委員会（養豚臭気対策）

令和2年度 一般会計 決算審査



委員 長／阿部 光樹議員(右)
副委員長／小野 宏議員(左)

質疑の主な内容

- Q** 不能欠損処理で時効にしないための対策を、どう取り組んできたか。
- A** 納税相談時に納付確約書の提出と、分納による相談、また預金・給与・国税還付金の差し押さえや訪問徴収を行っています。
- Q** 新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種を考えているのか。
- A** 現段階では国のほうから何も指示がないため考えていません。
- Q** イノシシを捕獲し、豚熱の遺伝子検査を実施できないか。
- A** 死んだイノシシが対象
- Q** 民間業者者に委託して情報発信を行ったことでふるさと納税が増えています。
- A** 00万円と増えた要因は。
- Q** ふるさと納税が約7100万円と増えた要因は。
- A** 民間業者者に委託して情報発信を行ったことでふるさと納税が増えています。
- Q** 村所有の廃園、廃校施設等の今後のありかたは。
- A** 建物があれば維持管理が必要となります。旧神田保育所については売買に向けた協議を行ったことがあります。公募も検討したい。
- Q** ゴミの不法投棄防止のために取り組んでいること
- A** 看板等の設置とチラシの配布、広報での周知を行っています。
- Q** 自家消費の農作物被害がある。家庭菜園に対し電

で、生きた検体の検査はできません。

00万円と増えた要因は。

民間業者者に委託して情報発信を行ったことでふるさと納税が増えています。

村所有の廃園、廃校施設等の今後のありかたは。

建物があれば維持管理が必要となります。旧神田保育所については売買に向けた協議を行ったことがあります。公募も検討したい。

ゴミの不法投棄防止のために取り組んでいること

看板等の設置とチラシの配布、広報での周知を行っています。

自家消費の農作物被害がある。家庭菜園に対し電

令和2年度 一般会計・特別会計 決算 (単位：千円)

区 分	歳 入			歳 出			
	令和2年度決算額	令和元年度決算額	増減額	令和2年度決算額	令和元年度決算額	増減額	
一般会計	5,498,985	5,887,870	-388,885	5,033,633	5,484,720	-451,087	
特 別 会 計	国民健康保険	16,485	15,172	1,313	15,543	14,474	1,069
	後期高齢者医療	58,616	54,351	4,265	57,258	50,941	6,317
	簡易水道事業	223,331	232,168	-8,837	210,279	228,459	-18,180
	公共下水道事業	92,533	92,376	157	89,738	88,573	1,165
	農業集落排水事業	141,700	129,470	12,230	137,410	126,480	10,930
	介護保険	744,874	749,348	-4,474	723,687	738,174	-14,487
合計(一般・特会)	6,776,524	7,160,755	-384,231	6,267,548	6,731,821	-464,273	

令和2年度 村税の決算額と収納率

※歳入歳出とも千円未満は、四捨五入

区 分	決算額 (千円)	収納率 (%)
村 民 税	133,093	96.4
固定資産税	183,940	89.3
軽自動車税	17,188	97.8
たばこ税	26,939	100.0
入湯税	2,219	100.0
旧法による税	18	4.8
合 計	363,397	92.9
収 納 率	令和元年度	94.1
	平成30年度	94.2
	平成29年度	94.4
	平成28年度	94.7

※斜め矢印(記号)は、前年度から見た収納率の増減。

A 気柵の補助はできないか。来年度、予算化したい。

Q 農業振興事業の効果は。鞭打野地区の実績とし

Q 目で4687万円です。高規格道路の進捗状況は。

A 高屋防災などでは現在ボーリング調査を実施しています。土湯、草薙、柏沢地区では説明会が開催されました。

Q 旧戸沢小学校のプール付近に建設資材を置いていたが危険だったのでは。また、戸沢学園のプール設置の用途は。

A 資材を置くべきではなかったと考えています。今後、気をつけたい。プールの設置については令和5年度までには完成させたい。

令和2年度 特別会計 決算審査

質疑の主な内容

国民健康保険

Q 最上地区広域連合国民健康保険料の不能欠損額は、他町村は多く、この状況は改善されているか。

A 戸沢村は不能欠損が生じないよう取り組んでいます。町村によって取り扱いが異なり、他町村には意見を述べています。

簡易水道

Q 工事請負費約285万円の内容は。

A 古口日山地内の給水管工事です。JRより移動の指示があり、新たに給水管を引いた工事です。

介護保険

Q 保険料は何段階あるのか。まごころ荘の待機者は。
A 9段階。待機者は44名です。

Q 認定調査委託料約75万円の内容は。

A 認定調査にあたったケアマネージャーへ支払ったものです。

Q これまで利用していた介護サービスの回数が減った事例を聞いているがその理由とは。

A 調査項目に変更はありません。状態が良くなれば利用回数は減ります。7町村による審査会で審査され公正・公平性は保たれています。

監査意見（抜粋）

令和2年度一般会計及び特別会計の決算状況は、各会計の総計で前年度と比較すると歳入が5・4%の減額、歳出が6・9%の減額となりました。減額となった主な要因は畜産クラスター事業費補助金が令和元年度と比較し12億5500万円ほど減額となったことが要因と考えられます。大規模な事業が行われなかった中で決算額が50億円を超えたのは、特別定額給付金給付事業費4億3920万円をはじめとした新型コロナウイルス

ウィルス感染症対策経費の執行によるものと考えられます。

戸沢村の財政構造は、財源の構成比率において、地方交付税等の依存財源が79%を占めており、依存財源に偏っています。本村の財政運営は財政の硬直化が進み、厳しい財政事情を示しているものと思われれます。

1. 予算執行と事務事業

厳しい財政事情を考えますと予算編成や補正措置に当たっては綿密な精査を行い、計画的で適切な予算措置と効率的な執行を望むものです。適切な予算の計上と早期の補正措置に努め十分に予算の検討を行なったうえで執行されるよう留意願います。

2. 財源確保と収納対策

人口減少等により村税収入の増加を見込むことが難しく、社会保障費の増加等新たな財政需要が見込まれます。毎年度厳しい財政運営を余儀なくされる中で、自主財源の確保は重要です。収入確保については、引き続き、収納対策に鋭意総力を結集し、収入未済額と不納欠損処分額の減少を目標とした収納対策の強化とその成果に期待します。

3. 財産の管理運用等

地方公共団体の財産は、常に良好な状態で維持、管理されなければなりません。特に令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策に係る備品が整備されました。適正な管理と有効かつ有利な運用に努めることを望みます。



青柳孝一代表監査委員

村政を問い、正す!

7名の議員が一般質問



※一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするものです。

I 岡田 孝一議員	7p
●養豚施設の臭気対策について	
II 柿崎 英矢議員	8p
▲農業委員会の業務について	
III 加藤 政一議員	9p
■今後の圃場基盤整備事業について	
■猟友会支援策について	
■今後の保育行政について	
IV 富樫 義人議員	10p
◆開校から半年経過した戸沢学園の現状について	
◆定住圏構想における保育・共育の在り方について	
V 阿部 光樹議員	11p
★行政施策進捗遅延について	
★観光事業の現状と今後の展望について	
VI 伊藤 一議員	12p
▼防災対策・防災体制について	
VII 荒川 健一議員	14p
☆整備されたインフラの管理と現在の整備状況について	

一般質問



岡田孝一 議員



戸沢ファームとの情報交換

養豚施設の臭気対策は

問 私は、これまでも臭気対策を質問してきたが、未だ臭気の苦情や改善策を望む懇願が多数あります。本事業は、農業団体・議会・執行部が共に推し進めた事

業であり、住民に、より強力な改善策を示す必要があります。村長は、臭気苦情に対し、どの様な改善策を講ずるのか。

村長 農場への母猪導入から1年ほど経過した。昨年5月頃から、臭気苦情が寄せられはじめました。野口松坂地区の方々には不快な思いをさせてしまい、大変申し訳なく思っています。昨年、脱臭システムの不具合等を説明しましたが、住民は納得していないことも十分理解しております。村としても地域活性化の起

爆剤ということで、環境保全重視の最新式の脱臭システムを備えた大規模養豚場の誘致を進めてきた経緯もあることから、戸沢ファームに対して、改善勧告・指導を行っています。

地域住民みんなが、大規模豚舎ができて良かったと思っただけで良かったと思いたいと考えています。

問 臭気に対するモニタリング調査結果を伺います。

村長 臭気モニタリングは、昨年6月から5名により1か月間、2回目は9月から10名に増やして1か月間行い、住民説明会で報告しておりますが、一部耐えられない臭いがするとの意見を頂いています。

数値的には環境基準値内ですが、地元からは納得できないので早急に改善するよう望まれています。

問 村では養豚事業を誘致・稼働するにあたり、国や県よりも厳しい基準をつくったが、現に地元から多くの



養豚施設 戸沢ファーム

苦情と改善要望が寄せられています。村がとりえる行政上の規制等の考えは。

村長 戸沢村農村環境保全条例に基づき、「環境保全協定」の順守や改善命令があるが、臭気対策をしっかりやってもらうように戸沢ファームと話し合い、より効果のある改善策を目指します。

問 臭気の根源は、し尿処理や堆肥処理ではないかと思うがどうですか。

村長 誘致前、青森県や宮城県施設の視察したが、堆肥は完熟であり、臭気も感じなかった。施設的な問題は無いのか。

村長 施設的なことを含め、戸沢ファームとしっかり話し合っています。

一般質問



柿崎英矢 議員

農業委員会の業務について

問 遊休農地の所有者に対する指導、勧告以外に、解消への取り組みの考えは。

農業委員会会長 毎年8月に農地パトロールを実施し該当する農地が無いか調査を行います。顕著な遊休状態となっている農地があれば所有者への意向調査を実施し、解消に向けた取り組みを行います。

問 買い手、受け手のいない遊休農地の解消についての考えは。

農業委員会会長 農地あつ

せん等で解決できないケースも多くあります。農地中間機構を活用した、賃貸売り買いマッチング作業を行います。農地を取り巻く状況は厳しく、解消されない場合があると危惧しています。

問 遊休農地で未相続登記の農地又は所有者不明の農地の場合、どのような対応をしているか。

農業委員会会長 未相続登記は相続の手続きを行っていただくよう、連絡調整を行っています。所有者不明



収穫の様子

の遊休農地については、農地法に基づく公示制度があります。最近では調査結果公示にまで至っていません。

問 違反転用を発見した場合の指導は。

農業委員会会長 発見した場合の指導方法は所有者に

対し現状回復や適切な運用手続きを行うよう指導を行います。過度な違反転用が見受けられた場合は、現状回復命令をします。戸沢村ではそのような事例はありません。

問 遺産分割が長引き、耕作放棄されている場合の対

応策は。

農業委員会会長 その地区の農業委員を交え、地区として安全管理できないのか、話し合いの場を持つよう提案するなどの対応を行っています。

一般質問



古口地区 上田表

今後の圃場基盤整備事業は

問 村内の圃場の基盤整備事業は古口地区、角川地区の一部を残して80%以上整備され、今後の基盤整備事業の方針は。

村長 古口、角川地区の未整備圃場の整備は、今後、本村にとって最重要課題です。

農業者の高齢化、担い手不足に加え、圃場自体の価値まで低下しており、耕作する農業者が減少していくことが予想されます。農地の荒廃が拡大すれば、国土保全としての機能も低下し、災害の発生件数が増加する



加藤政一 議員

と予想されます。地元の熱意が事業化の絶対条件です。今後、圃場の基盤整備の事業化を考えている地区は、ぜひ産業振興課にご相談下さい。

猟友会への支援の拡充を

問 農地、農作物への鳥獣被害が増加し、対策として猟友会へ協力をお願いしていますが持続ある協力と育成に向け、猟友会への支援を拡充すべではないか。

村長 現在の猟友会会員は18名で、60歳以上が8名という年齢構成です。免許保持者が、中部地区にはいません。地域を問わず鳥獣の目撃情報や農作物等への被害の増加が報告され、猟友会の充実と新たな従事者育成が求められています。

狩猟者育成を図るため新規免許取得の際、費用負担軽減に向け一人当たり5万円を交付していますが、昨年は2名の実績となっています。また、猟友会に対し有害鳥獣捕獲活動助成金として15万円を交付しており、射撃技術向上等に活用されています。

今後も猟友会の充実と狩猟従事者の育成・技術向上に向け支援をしていきます。

今後の保育行政は

問 6月議会の一般質問での教育長答弁を受けて、今後の保育行政をどう進めていくのか。

村長 村の教育進行プランの重点である保小中一貫教育を進めていくことが村の教育の基本で、6月議会で教育長が答弁した幼児・学校教育を同じ目線・方向性で進めていきます。

戸沢保育所でも、3〜5歳児の幼児教育の充実を図るため、保育所を教育委員会が管轄する体制整備を行います。

問 保小一貫教育を具体的にどの様に進めていくのか。

教育長 子供達同士の交流と保育士と低学年の担任教師の交流を充実させ、保育所、学童も含め教育委員会で所管していくのが良い体制かと考えています。

問 所管事務の移行はいつ実施するのか。

村長 副村長・教育長と相談しながら、新年度から移行する方向で進めて行きます。



有害鳥獣の追い払い

一般質問



富樫義人 議員

開校から半年、戸沢学園の状況は

問 令和3年度に開校し、コロナ禍でのスタートとなったが、戸沢学園と地域との関りはどのようなようになっていくのか。

教育長 田植えをはじめとする校外学習は計画通りに実施されています。特に、中等部の職場体験では役場をはじめ農協、ほんぼ館、



舟番所等より多大なご協力をいただきました。地域での活動である通学合宿は、残念ながら今年度も中止となっています。

問 戸沢学園はあいさつ日本一を掲げているが、その成果について伺います。

教育長 文字通りあいさつの響く学校、子どもの育成です。児童会、生徒会による取り組みで自主性や生徒会活動の活性化を図ることが期待されます。児童会、生徒会の取り組みもあり、あいさつの質は少しずつ高まっています。来校者へのあいさつも明るくできる子供が増えていきます。

問 学校まで送り迎えをする保護者が多いと聞いています。スクールバスの乗降場所、運行状況は。

教育長 乗降場所を増やすことにつきましてもは保護者からの要望が基本にあります。しかし、統合から9年が経ち、児童数の増減や冬

期間の道路事情の変化もあり、見直しも含め検討する時期に来ていると考えています。何よりも子ども達の安全な登下校の確保が大事なので、再確認していきたいと思えます。

定住圏構想の一翼を担う保育・共育の在り方について

問 来年度、子育て支援住宅の情報発信や募集していく中で保育園児の受け入れ態勢は整っているのか。

教育長 子育て支援住宅の募集時期については担当課との調整が必要で、保育所の受け入れ態勢は利用者の人数に合わせ保育士を配置しています。そのため、入所希望者数や子どもの年齢にもよりますが、保育士の人員を検討することが必要と考えます。

問 戸沢学園の受け入れ態勢の目玉となる施策は何か。

教育長 子どもを持つ家庭では、そこにある学校がどのような学校なのかは、とても関心のあることです。安心して子どもを通わせることができる学校が求められています。村の教育の根幹である共育は、地域との繋がりを大事にした教育です。また、今の目玉はICT教育で、素晴らしい環境下で先進的な教育を行っていることをアピールしたいと思っています。村の人口増に向けた施策に、教育の面からも貢献できるよう、今後戸沢学園とともに、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。



一般質問



阿部光樹 議員

鳥獣被害対策、除雪対策 改善されない理由とは

問 一般質問の答弁とその後について、対策や取り組みを検討・実施しているようですが、村民の生活に身

近な鳥獣被害や村道の除雪などは、なぜ改善されないのか。



サルによる食害

村長 7月10日、県が実施する「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策事業」を角川地区で開催し、各地区代表者、猟友会会員、議員に参加をいただき、専門家の先生から講演と電気柵の設置研修を行っていただきました。すぐに効果が出るものではなく、役場だけで解決できる問題ではありません。電気柵の効果を検証したうえで、より効果的な支援策



除雪の来ない村道(住宅前の村道)

を講じていきます。

村道の除雪については、11月に除雪事業説明会を開催し、各地区会長と作業計画について協議を行い、苦情や要望については地区会長を通じ連絡いただくことで統一しています。状況によつては翌朝まで我慢いただく場合もあります。

問 出荷や販売する農作物より被害の多い自家消費野菜を作っている村民に対し、補助や支援を考へられないのか。

産業振興課長 被害に関しては把握しきれない部分がある



被災した危険な道路

あり支援等は難しいですが、電気柵等の防御対策については検討したいと思います。

観光事業の現状と今後の展望について

問 交流人口を増やし地域おこしにもつながる観光資源が戸沢村にはあります。戸沢村を観光・体験することのできる、最上川舟下り、幻想の森散策・わらび採り体験・今神山と浄ノ滝トレッキング・農家体験等です。新型コロナウイルスの影響で出来ない事業もありますが、現状と今後についての考えは。

村長 最上川舟下りは従来状況とは程遠いものの、昨年よりは増えています。幻想の森は旅行会社でガイド付きツアーを組み、多くの利用者がいます。浄ノ滝トレッキング・今神山と大蔵鉱山をめぐる歴史街道トレッキングは春と秋に企画されていて好評です。反面、わらび園や農家民宿は営業を休止しています。今後は、クーポンやキャンペーンなどにより、村への誘客を推進していきます。また、観光PR動画作成やTVコマercialでの放映、村内デジタル観光マップの整備なども進めます。

一般質問



伊藤 一 議員

防災対策・防災体制について

問 防災倉庫の配置整備は万全なのか。

村長 多くの人数を受入が
でき、早期の開設が想定さ
れている避難所として中央

公民館、戸沢学園、南部地域振興センターが挙げられます。避難所運営には施設内での保管が理想的であることから、それぞれの施設を中心に避難所備蓄品を配置しています。空きスペースの制約もあり、中央公民館及び戸沢学園等で使用する備蓄品は旧戸沢保育所にも保管しています。

問 緊急時、備蓄されている品数で十分に対応できるのか。

村長 一般的に災害発生から3日を過ぎると生存率が著しく下がるとされており、その間は人命救助が最優先されます。その間の避難所運営に係る環境及び衛生を考慮し備蓄を行っています。今後必要に応じて物品の充実、更新を図ります。

問 災害発生時の職員の出勤（招集）、特に土日、祝日の対応は。また年何回か訓練などを行う計画は。

村長 災害対策組織設置基準や職員配備体制は、戸沢村地域防災計画に定めています。曜日や時間帯を問わず、気象警報発令時や台風接近時、震度3の地震発生時には危機管理室職員を配備し、それ以上の状況・規模に応じた人員の配置、行動が定められており、震度6弱以上の地震や大規模災害発生時には全職員が登庁することになります。

7月には11日（日）から12日（月）にかけて断続的に激しい降雨に見舞われ、大雨、洪水の各警報、土砂災害警戒情報が発表されました。危機管理部局及び課長級職員を招集し、必要に応じて各部局主要担当職員で対応を図りました。今年度震度3以上の地震があった際は、課長級職員が登庁し連絡調整及び状況把握を行いました。

職員対象の訓練は昨年行っていないませんが、今後必要に応じて対応を図ります。



職員防災訓練（令和元年7月）



備蓄品（旧戸沢保育所）

一般質問



荒川健一 議員



村道冠水（向名高上通り線）

整備されたインフラの管理と現在の整備状況について

問 住民生活を支える水路や道路は貴重なインフラ資源です。安全に管理され、住民の利便性が図られているのか。

村長 村が管理する道路を常時良好な状態に保全管理し、さらに一般通行に支障を及ぼさないよう維持修繕することに努めています。

また、国県道における破損等の連絡を受けた際には、関係機関より対応いただく体制を整えております。

村道の昨年における実績から舗装修繕工事は、総延長が5路線1,000m程度で、予算額的には26,000千円を補修に要しており、限られました財源と年次計画から交通量や集落内等を考慮し、傷みの多い箇所から施工しております。急を要する舗装の対応は、直接担当者が穴埋めを実施しており、業者によるパツチングも春と秋に委託管理しております。

その他、側溝整備の新設が25mで、ガードレール設置は70m、区画線は3,000mをそれぞれ施工の状況にあります。

問 7月11日に冠水した箇所があります。村の対応等どのように考えているか。

建設水道課長 その件につきましては地区会より要望書の提出をいただいております。村道向名高上通り線



排水しきれない水路（向名高地内）

の低い場所のことかと思えます。県道新庄戸沢線の側溝整備が図られております。地形上の問題があり豪雨の際には通行止め等行っております。閉塞している箇所があり、今年度予算化し排水能力を高める予定といたします。

建設水道課長 議員指摘の該当箇所については土側溝ではなく、水路を敷設する方向で考えています。

問 施工後、管理者はどの機関が行うのか。

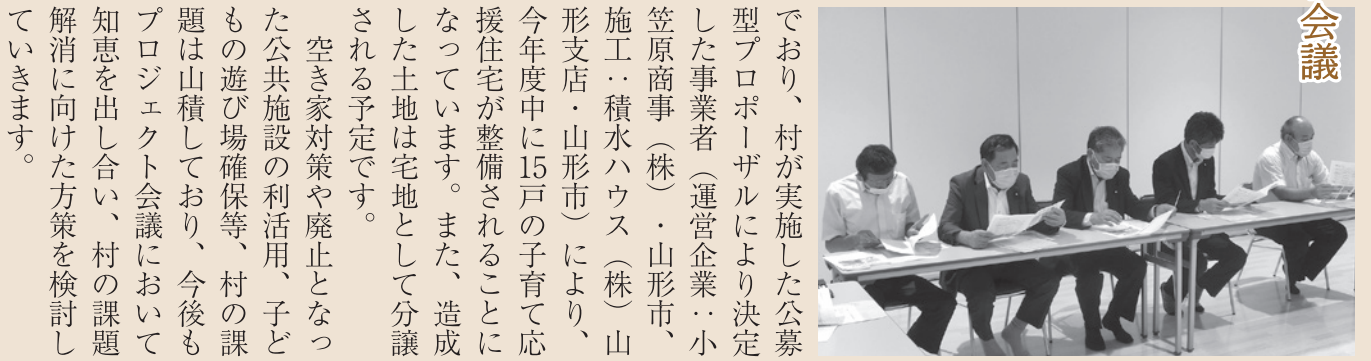
問 施工方法はどのようになるか。

建設水道課長 色々な機関が関係することになります。村で対応することもあると思われます。

未来創造プロジェクト会議

平成30年12月に議会から村に対して政策提言書を提出し、人口減少対策として、集合住宅整備による子育て支援と、子どものいる世帯を増やすためのプロジェクトチームの発足を提案しました。

諸般の事情により「未来創造プロジェクト会議」の発足は令和2年1月となりましたが、議員4人と副村長、関係課長をメンバーとして、5回の会議と1回の視察研修を実施しています。同会議では、喫緊の課題である子育て世帯の増加に向けた集合住宅の整備について協議してきましたが、場所を旧古口小学校とし、民間の資金力・ノウハウを活用した建設方法（PFI）で整備することを決定しました。本年7月21日に村長に提言書を提出し、その内容に沿った形で事業が進められています。



現在、旧古口小学校の敷地には、国の公共事業の発着生土を利用した造成が進んでいきます。

であり、村が実施した公募型プロポーザルにより決定した事業者（運営企業・小笠原商事（株）・山形市、施工・積水ハウス（株）山形支店・山形市）により、今年度中に15戸の子育て応援住宅が整備されることになっていきます。また、造成した土地は宅地として分譲される予定です。

空き家対策や廃止となった公共施設の活用、子どもの遊び場確保等、村の課題は山積しており、今後プロジェクト会議において知恵を出し合い、村の課題解消に向けた方策を検討していきます。

令和3年 第3回 定例会

9月定例会

議員発議2件

9月定例会最終日の9月15日に、左記の決議が全会一致で可決されました。

○豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書について（一部抜粋）

豪雪地帯を取り巻く状況が変化する中で住民の安全・安心を確保し、様々な課題への迅速な対応を可能とする支援策が必要であるため。

令和3年9月15日

戸沢村議会議長 加藤 文明

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（一部抜粋）

1. 令和4年度以降3年間

の地方一般財源総額について、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされぬよう十分な総額を確保すること。

2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは行わないこと。

3. 土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。

4. 令和3年度に講じられた自動車税等の臨時的軽減の延長を行わないこと。

5. 炭素に係る税の創設や拡充する場合は、その一部を地方に税源配分すること。

令和3年9月15日

戸沢村議会議長 加藤 文明

米価下落に伴い 要望書を提出



9月15日、戸沢村議会から村長に対し「安定的な農業経営の構築を求める意見書」を提出しました。コロナ禍による需要減で米価が下落し、さらに農業従事者の高齢化と農業資材の高騰など農業経営を取り巻く環境が著しく厳しい状況にあるとして、村長に対し農家が将来にわたり安定的に経営していくため特段の配慮をするよう要望しました。

8月10日 令和3年第3回臨時会 補正額3000万円

戸沢村一般会計補正予算（第3号）、工事請負契約の一部変更が可決されました。補正予算は主に持家住宅整備促進事業費補助金の増、災害復旧に要する経費です。

令和3年
第4回 臨時会

議会構成が変わりました。よろしくお願いたします。

9月1日開催の第4回臨時会において、議会構成が新しくなりました。

議 長	加藤 文明	区 分	議会運営 委員会	総務文教 常任委員会	産業建設 常任委員会	議会広報 常任委員会
副 議 長	荒川 健一	委 員 長	小野 宏	富樫 義人	岡田 孝一	加藤 政一
監 査 委 員	加藤 政一	副委員長	伊藤 一	阿部 光樹	柿崎 英矢	阿部 光樹
最上広域 事務組合議員	加藤 文明 伊藤 一	委 員 (議席順)	富樫 義人 岡田 孝一	荒川 健一 伊藤 一	小野 宏 加藤 政一	小野 宏 柿崎 英矢
最上地区 広域連合議員	加藤 文明 柿崎 英矢					
戸沢村産業振興 公社役員	荒川 健一 柿崎 英矢					

議会日誌 (7月～9月)

7月

- 1日 最上広域市町村圏事務組合定例監査
- 2日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進
期成同盟会 監査
最上広域市町村圏事務組合定例監査
- 7日 山形県議会文教公安常任委員会
現地調査随行
- 8日 戸沢村老人クラブ連合会公式ワナゲ大会
- 9日 総務文教常任委員会
戸沢村未来創造プロジェクト会議
- 10日 地域ぐるみで行う鳥獣被害対策研修会
- 14日 議会広報常任委員会
- 20日 例月出納検査
- 21日 最上広域市町村圏事務組合例月監査
第38回町村議会広報研修会
- 26日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会
令和2年度戸沢村各種会計決算審査
- 27日 最上広域市町村圏事務組合定例監査
- 28日 最上広域市町村圏事務組合定例監査
- 29日 令和2年度戸沢村各種会計決算審査

8月

- 6日 最上地区広域連合全員協議会
山形県町村監査委員協議会臨時総会
山形県町村監査委員研修会
- 10日 議員全員協議会
令和3年第3回戸沢村議会臨時会
- 23日 戸沢村産業振興公社第30期
第2回取締役会議
例月出納検査
最上広域市町村圏事務組合例月監査
- 27日 議会運営委員会
- 30日 最上市町村議会議長会臨時総会

9月

- 1日 令和3年第4回戸沢村議会臨時会
- 2日 議員全員協議会
- 8日 県関係国会議員との懇談会
- 9～15日 9月定例会・決算特別委員会
- 15日 議会広報常任委員会
- 22日 最上広域市町村圏事務組合例月監査
- 27日 例月出納検査
最上市町村議会議長会臨時総会
- 29日 産業建設常任委員会
- 30日 議会広報常任委員会

秋の風物詩



9月21日、出舟地区で戸沢学園5年生が稲刈りを体験しました。地区の皆さんと交流を図り、秋晴れのもと実りの秋を実感していました。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

12月8日(水)～10日(金)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。

祝

新人戦北ブロック大会進出



編集
後記

表紙の言葉

9月19日、戸沢村中央公民館にて、最上地区中学体育大会のバレーボール女子地区新人大会で、見事優勝しました。

各部活動の部員数が減少している中、8年生10名、7年生5名で日々、練習に励んでいます。

山々も紅葉し、秋の深まりをみせています。大きな災害もなく収穫期も好天に恵まれ、農作業も順調に進んだ事と思います。新型コロナウイルスの猛威により日本中が、自粛ムードとなり日常生活は、大きな制限を受け、経済活動は大打撃を受けました。制限が解除され、活気が戻りつつありますが、感染を防ぐには一人ひとりが、教訓を生かして他の人を思いやる気持ちが大事なのではないでしょうか。

議会広報常任委員会

委員長 加藤 政一